

- 高齢化により、地域公共交通の重要性が高まっている一方、利用者の減少、運行効率の低下、一部路線経路の重複、ダイヤが移動需要に即していない等の課題があり、路線の維持が困難となっている。宮古市と山田町は隣接しており、買い物・通院・通学等の日常生活の移動が相互に関係していることから、宮古・山田間における広域的な公共交通ネットワークの確保・維持を図る必要がある。
- こうした状況を踏まえ、利便増進事業として両市町を結ぶ広域バス路線の再編や、陸中山田駅を交通結節点とした一体的な交通ネットワークの再構築等を行い、地域における公共交通の利便性維持・向上を目指す。

事業の内容

①「田の浜線」と「宮古船越線」の統合・再編（宮古山田線）

地域間幹線と町内生活路線に系統を分割、陸中山田駅を交通結節点として強化

②山田町内路線の時間帯ニーズに応じたAIオンデマンドバスの導入

朝夕の時間帯の便は、定時定路線型を維持、日中は「AIオンデマンドバス」を導入

③まちなか循環バスの見直しとAIオンデマンドバスへの移行

陸中山田駅を中心に「AIオンデマンドバス」で主要拠点を毎日繋ぎ、移動手段を確保

④山田町コミュニティバス等の再編

大沢地区へコミュニティバスを導入、デマンドタクシーエリアの拡大

事業の効果

①交通結節点の機能強化と乗り継ぎ利便性の向上

陸中山田駅を交通結節点として強化することで、円滑な移動や乗換が可能となり、広域的な公共交通ネットワークの機能を強化

②AIオンデマンドバス導入による移動利便性の向上

利用者の要望に応じてAIが作成した最適な経路とダイヤ(乗降時間)で運行することで、通院・買い物等の移動利便性を向上させて外出頻度を増加

③中心市街地エリアでのAIオンデマンドバスの毎日運行による、賑わいの創出

毎日運行とすることで、高齢者の社会参加や中心市街地の活性化、更に観光客の二次交通として利便性を向上

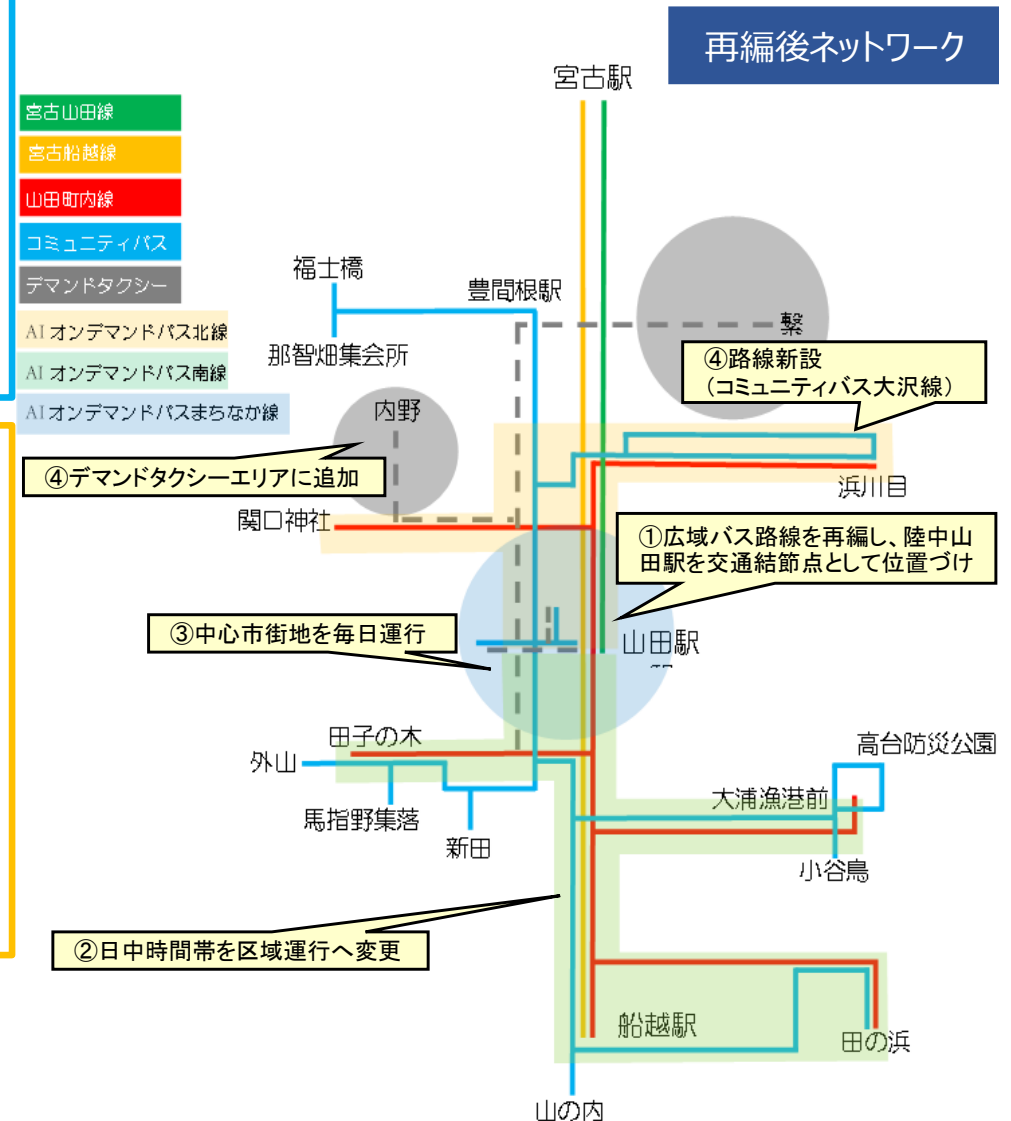
④効率的な運行による公共交通の持続性向上

利用実態に即した輸送資源の最適配分により、個々の移動ニーズにきめ細かく対応、エリア全体の利便性が向上

作成自治体: 岩手県、宮古市、山田町

事業実施区域: 宮古市及び山田町全域

事業実施予定期間: 令和8年10月1日～令和11年3月31日



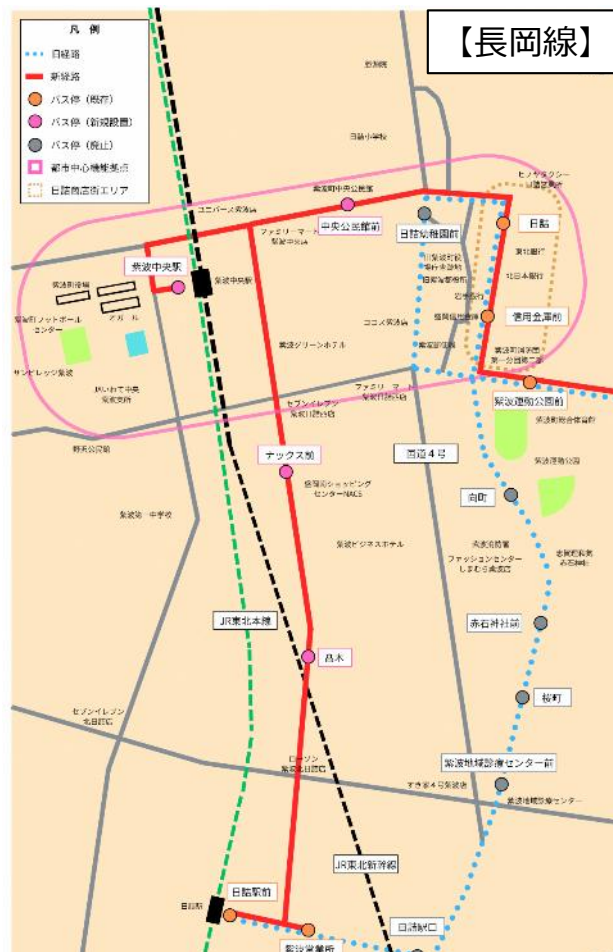
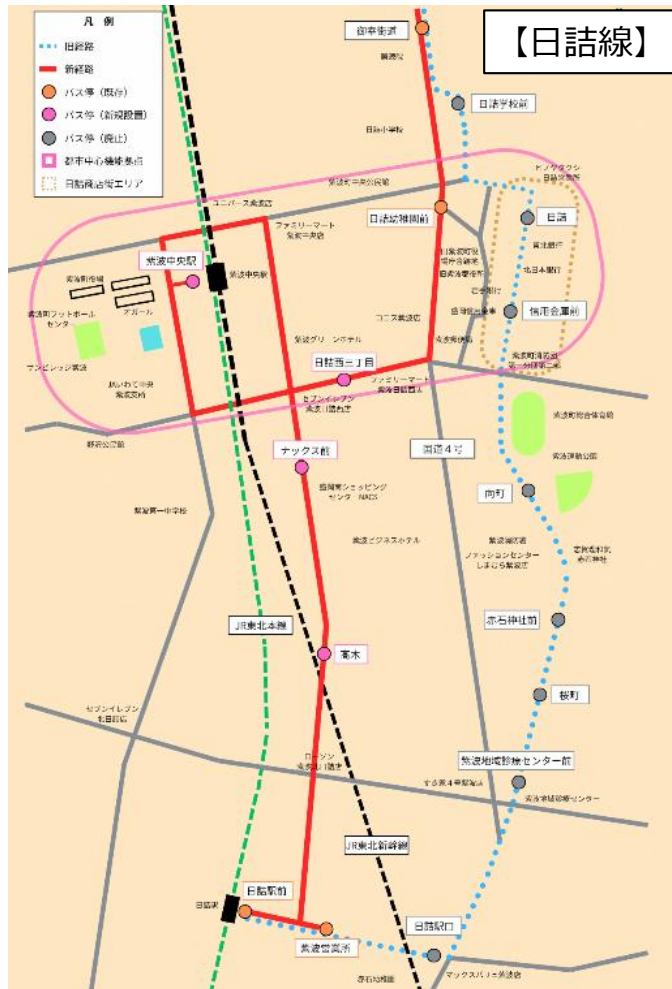
岩手県地域公共交通利便増進実施計画(紫波エリア版)(概要)

- 市街地の変遷や紫波中央駅周辺の商業施設等の整備状況に合わせ、日詰線・長岡線の路線の再編・見直しを行う必要がある。
- 運行経路を沿線住民の移動需要に即した形へと見直し、社会的便益及び利便性の向上を図ることで利用者の拡大を目指すもの。

事業の内容

■ 紫波町内における地域間幹線系統の路線再編【対象路線：日詰線、長岡線】

- ・ 都市中心機能拠点に位置づけられる紫波町役場やオガールエリアが位置している紫波中央駅前エリアを經由
- ・ 紫波中央駅にバス停を設置
- ・ 住宅地や宅地造成が盛んにおこなわれているエリアにバス停を設置



事業の効果

- ・ 日詰線・長岡線の中心市街地エリアへのカバー率が向上し、地域住民の生活利便性向上。
- ・ 主要な商業施設や公共施設へのアクセスが向上することで、地域住民の生活利便性の向上、収益性の向上、町内外に向けた紫波町の集客力が向上。
- ・ 交通結節点である紫波中央駅に接続することで、鉄道との乗換が可能となり、広域的な公共交通ネットワークが機能強化。

- ・ 作成自治体 岩手県
- ・ 事業実施区域 岩手県紫波町内
- ・ 事業実施予定期間 R8年10月～R11年3月

【対象エリア】岩手県紫波町